



整理番号	HT27001	分野	生物・農学	キーワード: 農業・環境
------	---------	----	-------	--------------

## 北海道大学

### 有機農業の入り口・肥料がなくても野菜は育つ

先生(代表者)	荒木 肇(あらかき はじめ) 北方生物圏フィールド科学センター・教授			
自己紹介	北海道・栗山町のタマネギ農家の出身。中学では野球部。好調な時は‘球が止まってみえた’。大リーグ大好き。趣味はテニス、推理小説や百人一首カルタ。自分で発電して野菜作り。5月の半分は小中学校休校(理由は大学で)。			
開催日時・ 主な募集対象	平成 27 年 8 月 19 日(水)	(対象)	中学生	(人数) 20 名
集合場所・時間	北海道大学・北方生物圏フィールド科学センター・生物生産研究農場(センター庁舎)		(集合時間)	8:45
開催会場 (集合場所)	北海道大学・北方生物圏フィールド科学センター・生物生産研究農場(センター庁舎) 住所: 〒060-0811 札幌市北区北 11 条西 10 丁目 アクセスマップ: <a href="http://www.fsc.hokudai.ac.jp/farm/access/sapporo/">http://www.fsc.hokudai.ac.jp/farm/access/sapporo/</a>			
<b>内 容</b>				
<p>作物の生育にはチッソ・リン酸・カリの肥料栄養が必要ですが、肥料を使用しない有機農業ではどこから栄養分を吸収していますか？ 家畜糞尿と敷ワラを混合してつくる堆肥や栄養源になる緑肥(右写真)が分解してできる肥料分を作物は吸収します。今回は堆肥や緑肥を観察し、有機物畑での作物生育を肥料畑と参加者が比較調査します。隣のキャベツにはアオムシがつくのに、全く害虫がつかず、殺虫剤が不要な野菜も紹介し、実際に食べてみます。牛乳生産や北大農場を直にみることができます。</p>				 <p>マメ科緑肥・ヘアリーベッチ。土壌中で分解されてすぐにチッソを放出。</p>
<b>スケジュール</b>			<b>持 ち 物</b>	
8:45～ 9:00 受付			筆記用具	
9:00～ 9:15 開講式(オリエンテーション、科研費の説明)			作物採取のために、軍手または手袋(薄手)	
9:15～ 9:45 講義「有機作物」				
9:45～11:00 有機質資材投入圃場での野菜生育調査				
11:00～12:00 乳牛飼養と堆肥の観察			<b>特 記 事 項</b>	

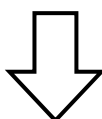
12:00～12:30 害虫がつかない野菜の観察と収穫	屋外のため帽子着用 雨天時は、屋外調査を減らして室内 実験を長くする等、プログラムの変 更あり。ただし、集合時刻は変更な し。
12:30～13:30 昼食休憩	
13:30～14:30 土壌分析:有機質資材からでる窒素調査	
14:30～15:00 おやつタイム、アンケート記入	
15:00～15:30 修了式、未来博士号授与	
15:30 終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター学術協力担当 佐藤 優子(さとう ゆうこ)
住 所 :	〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西10丁目
TEL 番号 :	011-706-2572
FAX 番号 :	011-706-4930
E-mail :	kyoryoku@fsc.hokudai.ac.jp
申込締切日 :	平成27年8月10日(月)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
荒木 肇	H21-23	基盤研究B	21380151	カバークロップの導入による省資源・温暖化ガス抑制型の有機栽培の確立



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。